



2021年7月30日

各 位

会社名 神鋼商事株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 森地 高文  
 (コード番号 8075)  
 問合せ先責任者 総務部長 大島 幸雄  
 (TEL 03-5579-5201)

### 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年4月28日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

#### 業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 200,000	百万円 2,000	百万円 2,100	百万円 1,100	円 銭 124.23
今回修正予想(B)	238,000	3,900	4,100	2,900	327.51
増減額(B-A)	38,000	1,900	2,000	1,800	
増減率(%)	19.0%	95.0%	95.2%	163.6%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	347,070	1,380	1,618	488	55.19

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 408,000	百万円 5,100	百万円 5,200	百万円 3,000	円 銭 338.80
今回修正予想(B)	483,000	7,800	7,300	5,100	575.96
増減額(B-A)	75,000	2,700	2,100	2,100	
増減率(%)	18.4%	52.9%	40.4%	70.0%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	784,160	4,454	4,067	2,198	248.24

2022年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 146,000	百万円 1,600	百万円 950	円 銭 107.27
今回修正予想(B)	168,000	3,100	2,200	248.45
増減額(B-A)	22,000	1,500	1,250	
増減率(%)	15.1%	93.8%	131.6%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	282,960	2,064	1,155	130.44

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 300,000	百万円 3,100	百万円 1,750	円 銭 197.61
今回修正予想(B)	344,000	5,000	3,600	406.56
増減額(B-A)	44,000	1,900	1,850	
増減率(%)	14.7%	61.3%	105.7%	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	646,529	4,044	2,313	261.23

### 修正の理由

2022年3月期第2四半期連結累計期間につきましては、自動車業界並びに半導体業界向けの取扱いが好調であり、また原材料価格も高値推移する等の好条件に支えられることに加えて、中国・米国を中心とした海外子会社の業績も順調に推移する見込みです。また、販売費及び一般管理費についても、当初予想よりも大幅に縮小する見込みとなりました。その結果、鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属の各セグメントを中心に営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ当初予想から大幅に増加する見込みです。

2022年3月期通期の業績予想(連結)につきましては、ASEAN地域における自動車産業の減速懸念等、今後の業績に不確定な要素が見込まれるため、現時点で判断できる諸条件を見直した上で、前回の業績予想から変更しております。

個別業績予想(第2四半期累計・通期)につきましても、同様に見直しを行いましたところ、経常利益、第2四半期(累計)及び当期純利益が、当初予想から大幅に増加する見込みです。

## 配当予想の修正について

	年 間 配 当 金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2021年4月28日発表)	50.00	50.00	100.00
今回修正予想	85.00	85.00	170.00
当期実績			
前期実績 (2021年3月期)	15.00	35.00	50.00

### 修正の理由

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つに位置付けており、企業体質の強化と将来の事業展開に必要な内部留保等を考慮しつつ、各期の業績に応じた配当を継続することを基本方針としております。上記方針に基づき、今般の業績予想修正を踏まえ、2022年3月期の第2四半期末及び期末の配当予想を、それぞれ1株当たり85円に修正することといたしました。その結果、年間配当金は1株あたり170円の予想となります。

(注) 上記の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上